

泥だらけで頑張りました 河北小田植え体験

5月30日、河北小学校の児童が田植えの体験をしました。

この取り組みは森啓介さん（字中須田）の水田を借り、昨年から実施しており、児童たちは森さんが準備した苗を、それぞれ片手に持ちながら一斉に田んぼに入っていました。

昨年も田植えを体験した児童は臆さず田んぼに裸足で入り、楽しみながら真剣に取り組んでいました。

中山校長は「昨年よりみんな上手になって、きれいな列になって植えることができた。」と話していました。



みんなで育てよう 人権の花運動

6月9日、河北・上ノ国小学校にて、人権の花運動が行われました。

この運動は、児童たちが自分らで植えた花を協力して育てることで、人を思いやる心や人権を尊重する気持ちを身につけることを目的として行われています。

児童たちは人権擁護委員からマリーゴールドの花を受け取り、丁寧にプランターに植え替えました。

自分達がかきれいに植えた花の前に記念撮影をし、児童たちの顔には笑顔の花が咲いていました。



将来の糧になる経験を 上高生職場体験学習

6月16日、17日にかけて、上ノ国高等学校2年生が職場体験学習のため、町内の事業所等を訪れました。

これは総合的な学習の時間として毎年実施されており、今年、役場には男女3名が訪れ、各課で様々な仕事を体験しました。

栽培漁業総合センター内での作業や、災害復旧現場の見学等を体験した高田さんと草間さんは「体験する前は上下関係が厳しいイメージだったが、職員が上司部下問わず話している姿を見て印象が変わった。」と話していました。



例年より早期実施も 町内各地で草刈り実施

6月初旬から各町内会で草刈りが実施されていました。例年、6月下旬に行われていましたが、今年は雑草の成長が早く、毛虫被害も多いため、早めに実施している地区もありました。

扇石町内会では6月12日に呼びかけに応じた町内会加入者らが、家庭から草刈り機や鎌を持ち寄り、3カ所ある避難階段や集会施設まわりの草刈りを行いました。

太田扇石町内会長は「参加者が高齢になり、避難階段まわりが特に大変だが、多くの人が参加してくれた。」と話していました。

